



®環境省

エコアクション21

認証番号 0003866

Vol. 12

# 環境経営レポート

2019年度



時代とともに 街とともに

**TATEYOSI**  
CORPORATION

株式会社 建吉組

対象期間：2019年4月～2020年3月

発行日：2020年7月1日

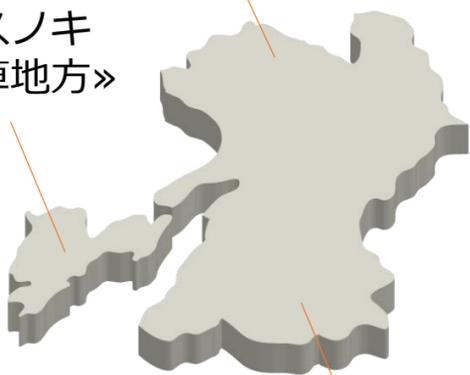


当建物は、**熊本県産木材**を使用して建築しています。  
**【スギ・ヒノキ・クスノキ】**



スギ  
 «山鹿・菊池地方»

クスノキ  
 «天草地方»



ヒノキ・スギ  
 «人吉球磨地方»

表紙建物 . . . 熊本県林業研究・研修センター  
 竣工 . . . 令和元年9月17日  
 延床面積 . . . 742.80㎡ / 木材総使用量 . . . 208.74㎡  
 構造・規模 . . . 研修施設及び事務所 W造・1階  
 付属棟 2棟(研修用機材保管庫 1棟、昆虫飼育展示室 1棟)

# 目次

1.事業概要	1
2.組織概要・対象範囲	2
3.環境経営方針	3
4.環境活動の実施体制（2019年度）	4
4-1.環境活動の実施体制（2020年度）	5
5.環境への負荷実績・環境経営目標	6~8
6.2019年度環境経営計画の取組結果と評価	9
6-1.2020年度環境経営計画の取組内容	10
7.環境法規制遵守チェックリスト	11
8.建設に係る環境関連法規への違反、訴訟等の有無	11
9.G E Oパワーシステム	12
10.年間行事（2019.4~2020.3）	13~16
11.SDGsの取組強化	16
12.会社の取組み	17~19
13.2020年度の各部目標	20
14.代表者による全体評価と見直しの結果	21

# 1. 事業概要

- 商号 株式会社 建吉組
- 代表者 代表取締役 笹原 健嗣
- 所在地 本 社 熊本県熊本市中央区坪井6丁目38番15号  
福岡支店 福岡県福岡市南区塩原3-26-18-704  
合志倉庫 熊本県合志市野々島4420番3
- 創業 大正 8 年 5 月 1 日
- 創立 昭和 19 年 4 月 19 日
- 事業内容 建設工事の企画・設計及び監理、建築工事の施工  
不動産の賃貸及び所有管理
- 資本金 1 億円
- 完工高 3 4 億円(令和元年度)
- 社員数 6 0 名
- 許可 建設業許可 国土交通大臣 (特-29) 第853号
- 許可を受けた建設業 土木工事業 建築工事業 大工工事業 左官工事業 石工事業  
とび・土工工事業 屋根工事業 タイル・れんが・ブロック工事業  
鋼構造物工事業 鉄筋工事業 舗装工事業 しゅんせつ工事業  
板金工事業 ガラス工事業 塗装工事業 内装仕上工事業  
防水工事業 熱絶縁工事業 建具工事業 水道施設工事業  
解体工事業
- 登録 一級建築士事務所登録 熊本県知事 第100号
- 環境管理統括管理者 山田 博明
- 環境管理担当者 加治屋 賢二
- 連絡先 TEL 096-343-1111  
FAX 096-345-6711
- URL <http://www.tateyosi.co.jp>

## 2. 組織概要・対象範囲



# 3. 環境経営方針

株式会社建吉組は地域環境の保全とその継承の重要性を認識し、建設業としての事業活動を通して、環境負荷の低減、持続可能な循環型社会の構築に貢献します。

次の環境経営方針に基づき環境マネジメント活動を推進して地域の環境保全に貢献する企業を目指します。

1. 当社の業務運営に関わる環境影響を常に認識し、環境汚染の予防を推進するとともに、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。
2. 当社に関連する環境関連法規制などの要求事項を遵守します。
3. 顧客に対して環境に配慮した製品を提案し省エネに配慮した設計に努めます。
4. 当社の事業活動に係わる環境影響のうち、以下の項目を環境経営重点テーマとして取り組みます。
  - (1) 二酸化炭素排出量の削減
  - (2) 産業廃棄物排出量の削減
  - (3) 総排水量の削減
  - (4) グリーン購入
  - (5) 資源の節約
  - (6) 地域貢献
  - (7) 化学物質の適正管理
  - (8) 経営における課題と機会を踏まえる
5. すべての社員が環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、環境経営方針を全従業員及び協力会社に周知し社外にも公開します。

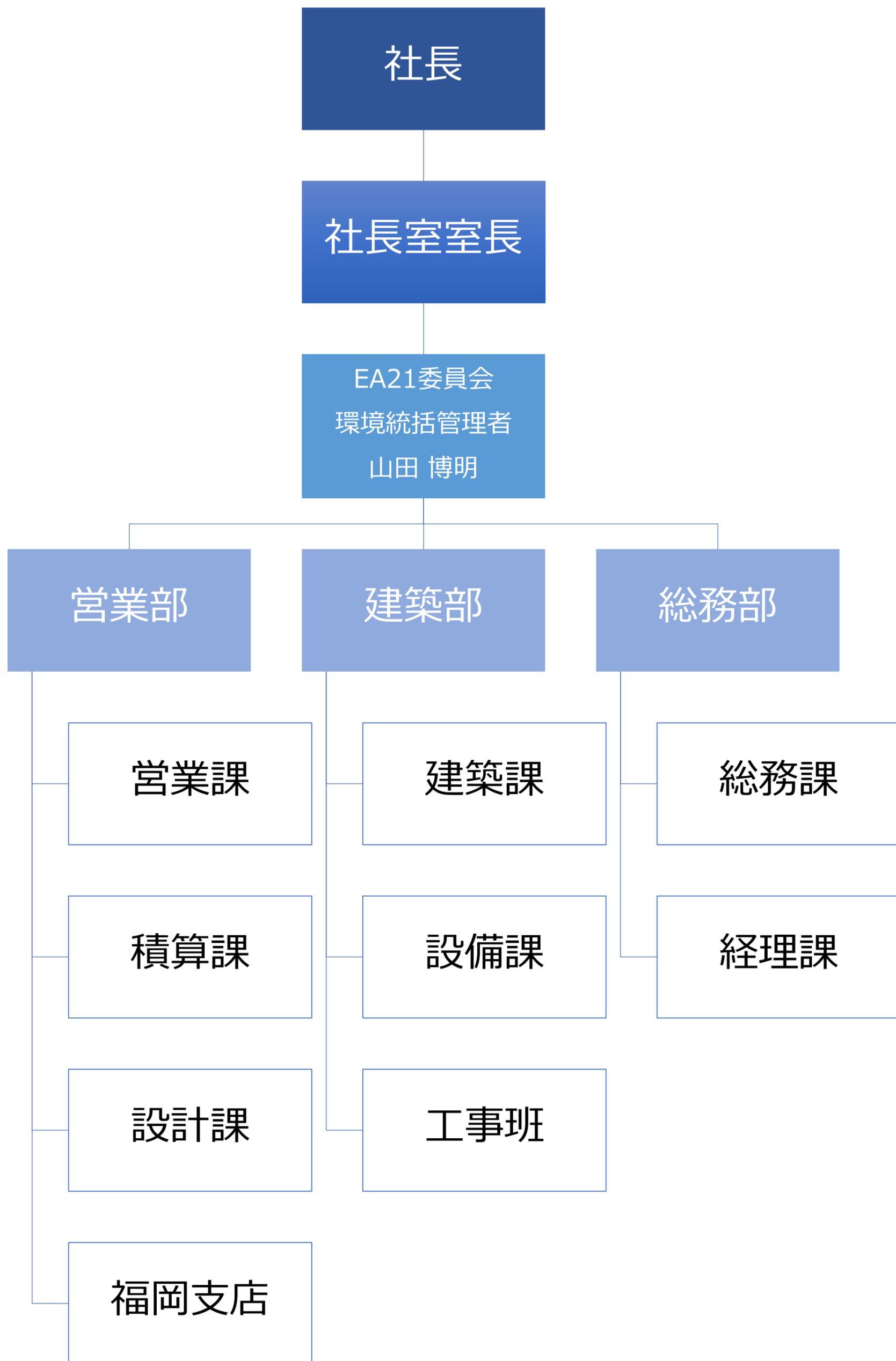
上記の方針達成の為に目標を設定し定期的に見直し環境活動を推進します。

2008年6月1日 制定  
2020年7月1日 改訂

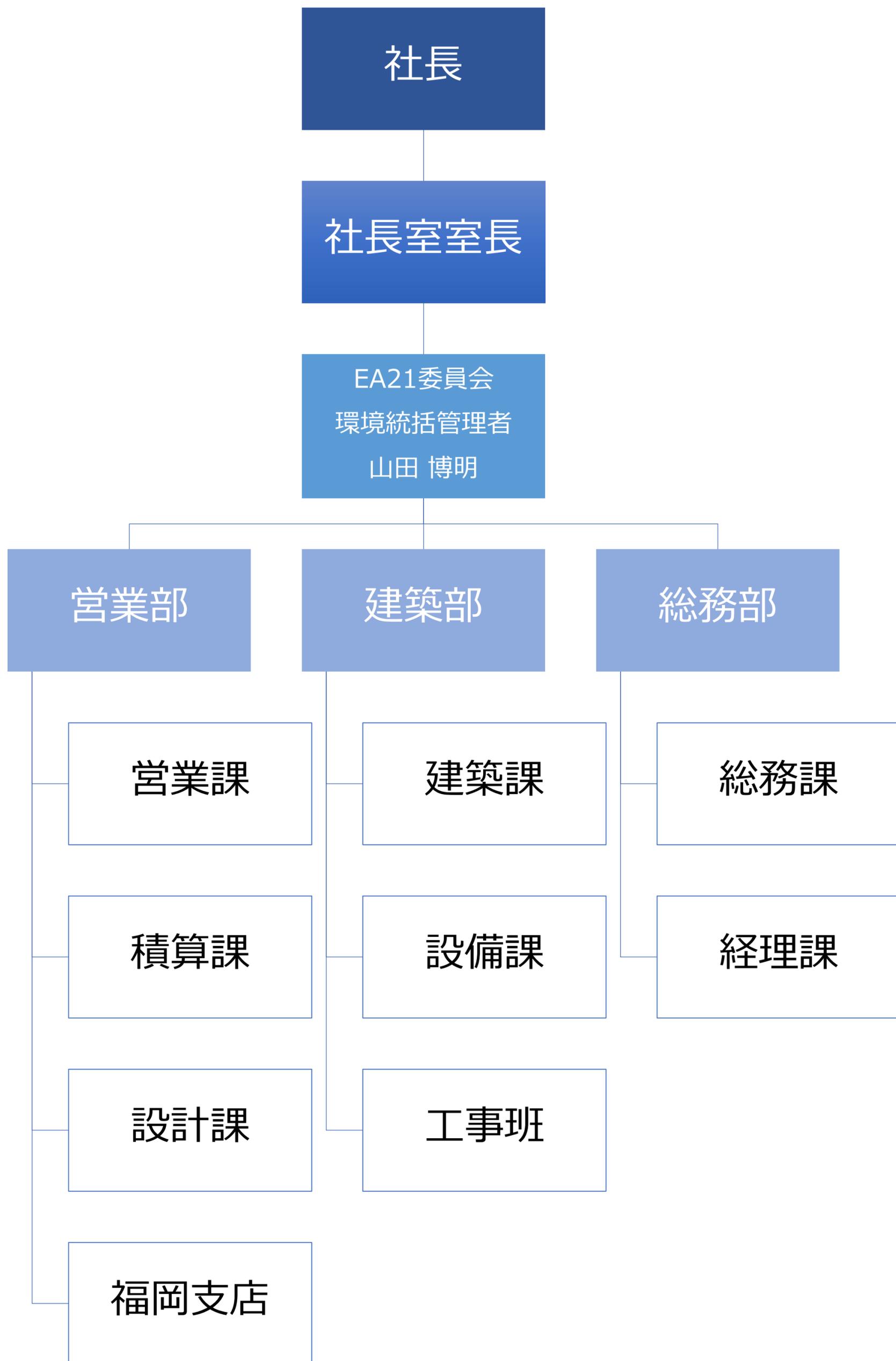
株式会社 建吉組

代表取締役 菅原 健嗣

# 4. 環境活動の実施体制 2019年度



# 4-1. 環境活動の実施体制 2020年度



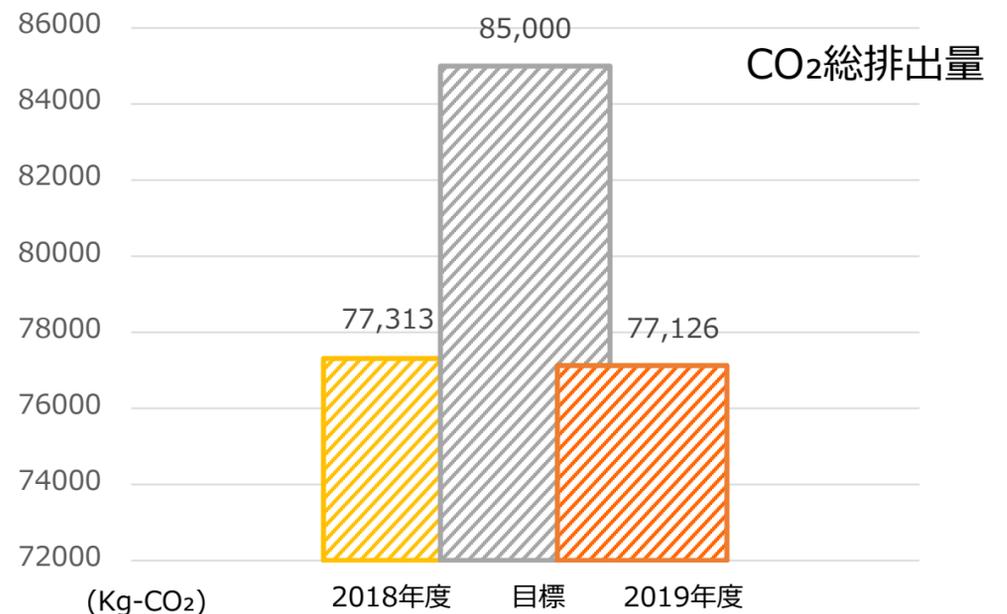
# 5. 環境への負荷実績・環境経営目標

## ～ CO<sub>2</sub>総排出量・電気・灯油系 ～

事務所		評価基準(S 110%以上・A 100%～109%・B 60%～99%・C 60%未満)					
項目	2007年度 (基準年)	2018年度	2019年度			2020年度	
	実績	実績	実績	目標	達成度	評価	目標
CO <sub>2</sub> 総排出量※	133,212 kg-CO <sub>2</sub>	77,313 kg-CO <sub>2</sub>	77,126 kg-CO <sub>2</sub>	85,000 kg-CO <sub>2</sub>	110%	S	83,000 kg-CO <sub>2</sub>
ガソリン	22,181 ℓ	7,506 ℓ	6,500 ℓ	8,000 ℓ	123%	S	7,000 ℓ
軽油	7,853 ℓ	8,022 ℓ	10,288 ℓ	9,000 ℓ	87.4%	B	9,000 ℓ
灯油	100 ℓ	136 ℓ	20 ℓ	70 ℓ	350%	S	50 ℓ
電力	105,421 kWh	65,916 kWh	59,907 kWh	70,000 kWh	116%	S	68,000 kWh

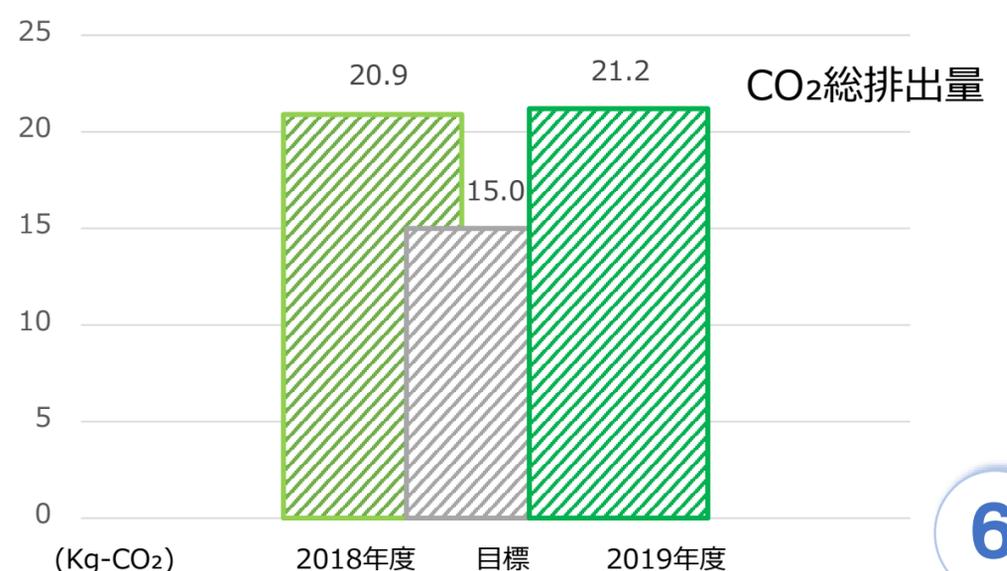
※平成26年度九州電力(株)実排出係数(0.584)にて計算。基準年度も同係数に換算し計算。

中期目標			
項目	2021年度	2022年度	2023年度
CO <sub>2</sub> 総排出量	82,000 kg-CO <sub>2</sub>	81,000 kg-CO <sub>2</sub>	80,000 kg-CO <sub>2</sub>
ガソリン	7,000 ℓ	7,000 ℓ	7,000 ℓ
軽油	9,000 ℓ	9,000 ℓ	9,000 ℓ
灯油	50 ℓ	50 ℓ	50 ℓ
電力	68,000 kWh	68,000 kWh	68,000 kWh



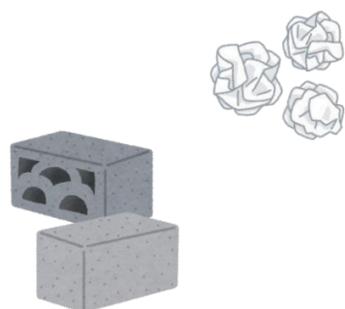
現場		評価基準(S 110%以上・A 100%～109%・B 60%～99%・C 60%未満)					
完成工事高一億円あたり[実数]							
項目	2007年度 (基準年)	2018年度	2019年度			2020年度	
	実績	実績	実績	目標	達成度	評価	目標
CO <sub>2</sub> 総排出量	15.7 [57,697] kg-CO <sub>2</sub>	20.9 [74,513] kg-CO <sub>2</sub>	21.2 [73,869] kg-CO <sub>2</sub>	15.0 kg-CO <sub>2</sub>	70.7%	B	15.0 kg-CO <sub>2</sub>

中期目標			
項目	2021年度	2022年度	2023年度
CO <sub>2</sub> 総排出量	15.0 kg-CO <sub>2</sub>	15.0 kg-CO <sub>2</sub>	15.0 kg-CO <sub>2</sub>



# ～ 産業廃棄物の再資源化率 ～

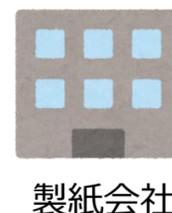
現 場		評価基準(S 100%・A 90%～99%・B 60%～89%・C 60%未満)					
項目	2007年度 (基準年)	2018年度	2019年度			2020年度	
	実績	実績	実績	目標	達成度	評価	目標
ｺﾝｸﾘｰﾄがら	1,101.6t	405.9t	1,011.7t	100%	100%	S	100%
建設発生木材	391.7t	148.9t	346.8t	100%	100%	S	100%
建設発生金属	158.4t	100.9t	139.5t	100%	100%	S	100%
紙くず	86.7t	24.9t	52.6t	100%	100%	S	100%
建設混合 廃棄物	154.7t	166.3t	98.9t	100%	100%	S	100%



中期目標 (再資源化率)			
項目	2021年度	2022年度	2023年度
ｺﾝｸﾘｰﾄがら	100%	100%	100%
建設発生 木材	100%	100%	100%
建設発生 金属	100%	100%	100%
紙くず	100%	100%	100%
建設混合 廃棄物	100%	100%	100%



## 廃棄物リサイクルの流れ



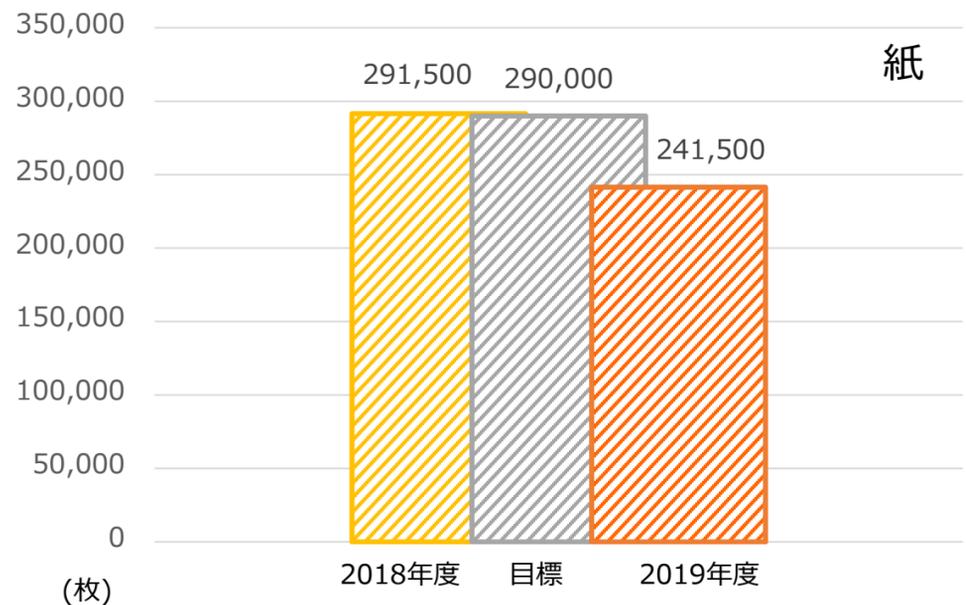
**資源化物**  
固形燃料  
プラスチックペレット  
繊維  
鉄スクラップ・非鉄金属  
ガラス原料

**資源化物**  
再生紙

事務所 評価基準(S 110%以上・A 100%～109%・B 60%～99%・C 60%未満)							
項目	2007年度 (基準年)	2018年度	2019年度				2020年度
	実績	実績	実績	目標	達成度	評価	目標
水資源	178m <sup>3</sup>	164m <sup>3</sup>	77m <sup>3</sup>	150m <sup>3</sup>	194%	S	120m <sup>3</sup>
紙	478,000枚	291,500枚	241,500枚	290,000枚	120%	S	270,000枚
地域貢献	5回	7回	6回	7回	85.7%	B	6回
グリーン購入※	-	65.8%	56.6%	60%以上	94.3%	B	60%以上

※(グリーン購入)=(eG法対象数)÷(事務用品購入総数)×100にて算出

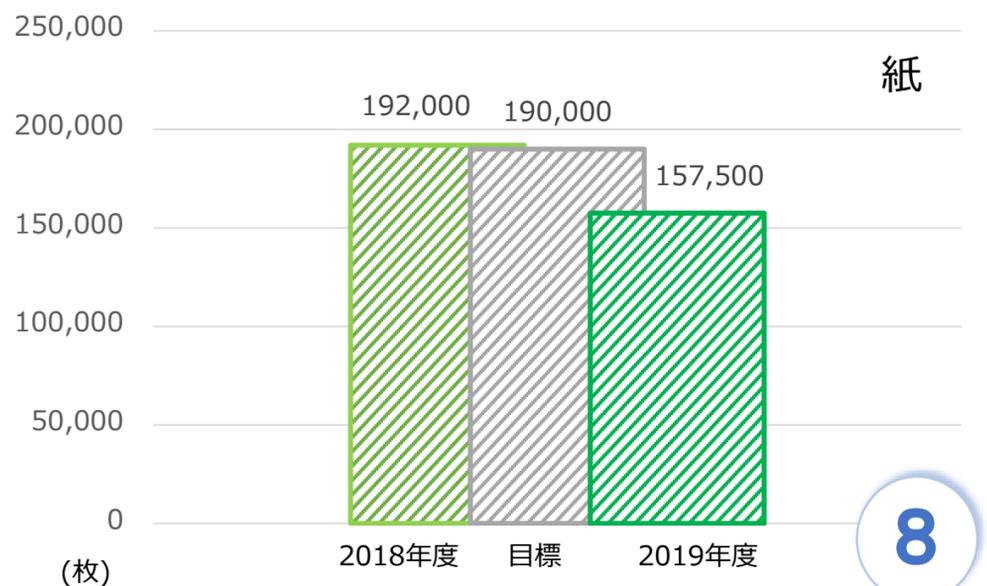
中期目標			
項目	2021年度	2022年度	2023年度
水資源	110m <sup>3</sup>	100m <sup>3</sup>	100m <sup>3</sup>
紙	265,000枚	260,000枚	255,000枚
地域貢献	6回	6回	6回
グリーン購入	60%以上	60%以上	60%以上



現場 評価基準(S 110%以上・A 100%～109%・B 60%～99%・C 60%未満)							
項目	2007年度 (基準年)	2018年度	2019年度				2020年度
	実績	実績	実績	目標	達成度	評価	目標
GEO パワーシステム※1	-	18t-CO <sub>2</sub>	0t-CO <sub>2</sub>	18t-CO <sub>2</sub>	0%	C	7t-CO <sub>2</sub>
水資源	3,493m <sup>3</sup>	2,142m <sup>3</sup>	1,046m <sup>3</sup>	2,000m <sup>3</sup>	191%	S	2,000m <sup>3</sup>
紙	102,000枚	192,000枚	157,500枚	190,000枚	120%	S	185,000枚
グリーン購入※2	-	54.4%	44.4%	60%以上	74.0%	B	60%以上
化学物質の 適正管理	ホルムアルデヒドの濃度に関して、適正に管理しました。					A	適正管理

※1 ジルカ° 7.5m = 5m×3本分(換算値) 5m(2本) = 1t-CO<sub>2</sub>削減  
 ※2 (グリーン購入)=(eG法対象数)÷(事務用品購入総数)×100にて算出

中期目標			
項目	2021年度	2022年度	2023年度
GEO パワーシステム	8t-CO <sub>2</sub>	9t-CO <sub>2</sub>	10t-CO <sub>2</sub>
水資源	2,000m <sup>3</sup>	2,000m <sup>3</sup>	2,000m <sup>3</sup>
紙	180,000枚	175,000枚	170,000枚
グリーン購入	60%以上	60%以上	60%以上
化学物質の 適正管理	適正管理		



# 6. 2019年度環境経営計画の取組結果と評価

重点項目	主な取組み内容	評価	取組み結果
CO <sub>2</sub> 排出量の削減	<b>【事務所】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地中熱基礎空調及び省エネ改修工事の推進活動</li> <li>・導入しているGEOパワーステムを活用し、冷暖房の空調負荷を軽減</li> <li>・社有車を購入する際は燃費重視の車を選定</li> <li>・長距離移動の際は公共交通機関を極力利用し、自動車利用の場合は相乗りを積極的にすすめる</li> <li>・社有車によるICTドライブ(IGM)の実施</li> <li>・ケルビズ、ウォルビズの実施</li> </ul> <b>【現場】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冬場の暖房器具は室内温度20度を目標に調節する</li> <li>・使用していない重機はエンジンを止め、CO<sub>2</sub>削減に努める</li> </ul>	A	2019年度、ICT(情報通信技術)による業務効率化により残業時間の削減に繋がりました。電力使用量の削減が出来、目標を達成出来ました。現場でもCO <sub>2</sub> 削減に取り組んでいるが厳しい状況であり、2020年度も各取組を継続しCO <sub>2</sub> 削減に取り組んでいきます。
産業廃棄物の削減	<b>【現場】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物管理票(マニフェスト)に基づき適正に処理する</li> <li>・再生利用及び再生利用率を向上させる</li> <li>・廃棄物の削減</li> <li>・リサイクル品の使用</li> </ul>	A	産廃量の削減においては基準年と比べて減ってはいますが、昨年より増えた項目もありました。ただ、目標としている再資源化率100%を全項目において達成することが出来ました。
総排水量の削減	<b>【事務所・現場】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蛇口の水圧を調整して、出る水の量を削減</li> <li>・蛇口付近に節水シールを貼り、注意喚起</li> </ul>	S	昨年の反省を踏まえ、社員一人一人が節水を心がけた結果、目標値を上回る結果になりました。次年度も目標を達成出来るよう継続します。
グリーン購入	<b>【事務所】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務用品等はEcoマーク製品を優先して購入する</li> <li>・詰替え商品・リサイクル容器入りを購入する(筆記用具・洗剤・ソープ等)</li> <li>・近隣挨拶時にはEcoバッグ・Eco商品を配付</li> <li>・設計において、グリーン購入法適合商品(省エネバブル・Ecoマーク・グリーンマーク)の材料・設備等を1物件2件以上提案し、環境配慮設計に努める</li> </ul> <b>【現場】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文房具は持ち回りをし、詰め替え出来る商品を購入する</li> <li>・購入担当者である本社総務課で商品を選定し、グリーンマーク商品を優先して購入する</li> </ul>	B	事務所・現場とも目標を達成することができませんでした。継続して使用していたものや、使い易さを優先して購入したものがありませんでした。グリーン購入は、当社が取り組んでいるSDGsターゲット12-7“国内の政策や優先事項に従って持続可能な公共調達を促進する。”に該当します。環境配慮型製品を再度確認し、グリーン購入の周知徹底に努めていきます。
資源の節約	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古紙(新聞・雑誌・Eco用紙・カガク等)の分別回収を行う</li> <li>・ミソリット用紙は裏紙として再利用</li> <li>・電子メディアを利用し、ペーパーレス化を推進</li> </ul>	S	用紙の使用量は事務所・現場ともに昨年度値の20%近く削減を行い、目標を達成することができました。ICT(情報通信技術)の活用によりペーパーレス化に成功しました。今後も継続していきます。
地域貢献活動	<b>【事務所・現場】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペットボトルのキャップを回収し、障がい者支援・途上国支援に充てる</li> <li>・県道：熊本菊鹿線(中央区黒髪)年2回の清掃活動を実施</li> <li>・年1回社員及び協力業者と施設を訪問し、清掃活動を実施(企業ボランティア)</li> <li>・創立記念日に本社構内で献血活動</li> </ul> <b>【現場】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現場事務所近隣の清掃活動を実施</li> </ul>	B	全社員、年2回以上の参加を目標にして地域に貢献する活動を行っています。11月に行っている企業ボランティアは通算28回となり、お客様も楽しみにされる恒例行事となりました。現場においても週に1回程度、現場近隣の清掃活動を実施しています。これからも地域に貢献できるよう、全社員を挙げて活動を行っていきます。
化学物質の適正管理	<b>【現場・合志倉庫】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・化学物質濃度を適正に管理する。</li> <li>・保管庫の表には「火気厳禁」の表示、中には「物質の分類・量」を表示して明確にする</li> <li>・保管庫は施錠し厳重に管理する</li> <li>・4S(整理・整頓・清掃・清潔)の徹底</li> </ul>	A	内装及び塗装工事の使用材料はF☆☆☆☆の材料を使用し、記録に残っています。また、竣工時に指定場所の化学物質濃度測定を行っています。保管庫については内部監査時に確認し、適正管理が出来ていました。

評価基準(S 110%以上・A 100%~109%・B 60%~99%・C 60%未満)

# 6-1. 2020年度環境経営計画の取組内容

重点項目	主な取組み内容
CO <sub>2</sub> 排出量の削減	<p>【事務所】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地中熱基礎空調及び省エネ改修工事の推進活動</li> <li>・導入しているGEOパワーステムを活用し、冷暖房の空調負荷を軽減</li> <li>・社有車を購入する際は燃費重視の車を選定</li> <li>・社有車によるエコドライブ(エコ)の実施</li> <li>・クールビズ、ウォームビズの実施</li> </ul> <p>【現場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冬場の暖房器具は室内温度20度を目処に調節する</li> <li>・Web会議促進による車両移動を減らし、CO<sub>2</sub>削減に努める</li> <li>・省エネ型・ハイブリッド型の建設機械の使用</li> </ul>
産業廃棄物の削減	<p>【現場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物管理票(マニフェスト)に基づき適正に処理する</li> <li>・再生利用及び再生利用率を向上させる</li> <li>・廃棄物の削減</li> <li>・リサイクル品の使用</li> </ul>
総排水量の削減	<p>【事務所・現場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動ストップ機能付きの水栓に交換し、出る水量を削減</li> <li>・水道施設がない場所では、水タンクを利用し、1日に使用する水量を決め、節水に努める</li> </ul>
グリーン購入	<p>【事務所】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務用品等はEco情報マーク製品を優先して購入する</li> <li>・詰替え商品・リターナル容器入りを購入する(筆記用具・洗剤・ソープ等)</li> <li>・近隣挨拶時にはEcoバッグ・Eco商品を配付</li> <li>・設計において、デザインレビュー時と設計仕様書にグリーン購入法適合商品(省エネバル・Ecoマーク・グリーンマーク)の材料・設備等を1物件2件以上提案を記載し、環境配慮設計に努める</li> <li>・LIMEX商品の活用(名刺・ファイル等)</li> </ul> <p>【現場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内装仕上げ材は、ホルムアルデヒド放散量の少ない☆☆☆☆製品を使用する</li> <li>・現場員は、再生PET繊維50%以上の作業服を着用</li> </ul>
資源の節約	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古紙(新聞・雑誌・北用紙・カクガ等)の分別回収を行う</li> <li>・ミソリト用紙は裏紙として再利用</li> <li>・電子メディアを利用し、ペーパーレス化を推進</li> <li>・FAXのペーパーレス化</li> </ul>
地域貢献活動	<p>【事務所・現場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペットボトルのキャップを回収し、障がい者支援・途上国支援に充てる</li> <li>・県道：熊本菊鹿線(中央区黒髪)年2回の清掃活動を実施</li> <li>・年1回社員及び協力業者と施設を訪問し、清掃活動を実施(企業ボランティア)</li> <li>・創立記念日に本社構内で献血活動</li> <li>・募金式自動販売機設置</li> <li>・建築協会の清掃・献血活動への参加</li> </ul> <p>【現場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現場事務所近隣の清掃活動を実施</li> <li>・災害時ボランティア活動を実施</li> </ul>
化学物質の適正管理	<p>【現場・合志倉庫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・化学物質濃度を適正に管理する。</li> <li>・保管庫の表には「火気厳禁」の表示、中には「物質の分類・量」を表示して明確にする</li> <li>・保管庫は施錠し厳重に管理する</li> <li>・4S(整理・整頓・清掃・清潔)の徹底</li> </ul>

# 7. 環境法規制遵守チェックリスト

主な環境法規制等	届出、作業等	遵守事項
廃棄物処理法	産業廃棄物の委託処理	委託基準 1.委託先の許可確認 2.委託契約の締結 3.契約書の5年間保存 マニフェストの交付 1.交付義務 2.回収・照合(発行後B2,D票90日、E票180日以内) 3.保管(5年間) 未回収戻り票の報告 「交付状況報告」
	廃棄物の処理	積み上げ高さの厳守、雨、風、悪臭発生に対する養生、保管場所の掲示板設置
	特別管理産業廃棄物管理責任者、排出事業所、排出報告の届出	知事・市長へ届出 (届出期間、様式は条例等規定)
建設リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> <li>解体工事-80㎡以上</li> <li>新築・増築工事-500㎡以上</li> <li>修繕・模様替工事-1億円以上</li> <li>その他の工作物に関する工事(土木工事等)-500万円以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発注者への書面による計画等説明・工事着手する日の7日前までに必要事項を都道府県知事に届出、発注者へ書面による完了報告</li> <li>分別解体等</li> <li>再資源化等の促進</li> <li>再生資源の使用</li> </ul>
騒音規制法	杭打ち機、ブレーカ、空気圧縮機等を使用する作業	<ul style="list-style-type: none"> <li>知事へ7日前までに届出</li> <li>作業敷地境界にて85デシベル以下</li> </ul>
振動規制法	杭打ち機、杭抜き機、ブレーカ、舗装版破碎機を使用する作業	<ul style="list-style-type: none"> <li>知事へ7日前までに届出</li> <li>作業敷地境界にて75デシベル以下</li> </ul>
下水道法	公共下水道への排水	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共下水道管理者にあらかじめ届出</li> <li>排水基準(有害物質は排水基準を定める総理府令)、生活環境項目については、条例による。</li> </ul>
フロン排出抑制法 (特定解体工事元請業者が特定解体工事発注者に交付する書面に記載する事項を定める省令) 平成27年4月施行	業務用冷凍空調機器の管理者による冷房管理 解体工事(改修工事)	<ul style="list-style-type: none"> <li>全ての第1種特定製品を対象とした簡易点検の実施(3カ月に1回以上)</li> <li>一定の第1種特定製品について、専門知識を有する者による定期点検の実施(7.5kW以上の冷凍冷蔵機器：1年に1回以上 50kW以上の空調機器：1年に1回以上 7.5～50kWの空調機器：3年に1回以上)</li> <li>解体前にフロン類機器設置有無を確認、発注者に書面説明</li> <li>第1種特定製品管理者は当該フロン類機器を第1種フロン類充填回収業者に引き渡さなければならない</li> <li>機器の廃棄を委託された場合「委託確認書」の回付と保存及びフロン類充填回収業者の「引取証明書」の受理と写しの保存(3年間) (平成19年10月1日施行)</li> </ul>

# 8. 建設に係る環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規制の遵守状況をチェックしたところ、違反は有りませんでした。また、現時点まで関係当局からの違反等の指摘、住民等からの苦情、訴訟についても問題ありません。

# 9. GEOパワーシステム



**G**eothermal ... 地中熱利用

**E**conomical ... エコで経済的

**O**asis ... 癒しとくつろぎ

→ 地中熱とは？

大地は巨大な蓄熱層。1年を通して昼夜繰り返される、太陽による蓄熱と夜間冷気による放熱により、地中内の温度はその地域の平均気温とほぼ同じ温度になります。GEOパワーシステムが利用するのは、地下約5~7.5mの温度。外気と違い温度変化が少なく、夏にはほんのり涼しい、冬にはほんのり暖かい熱が蓄熱されています。

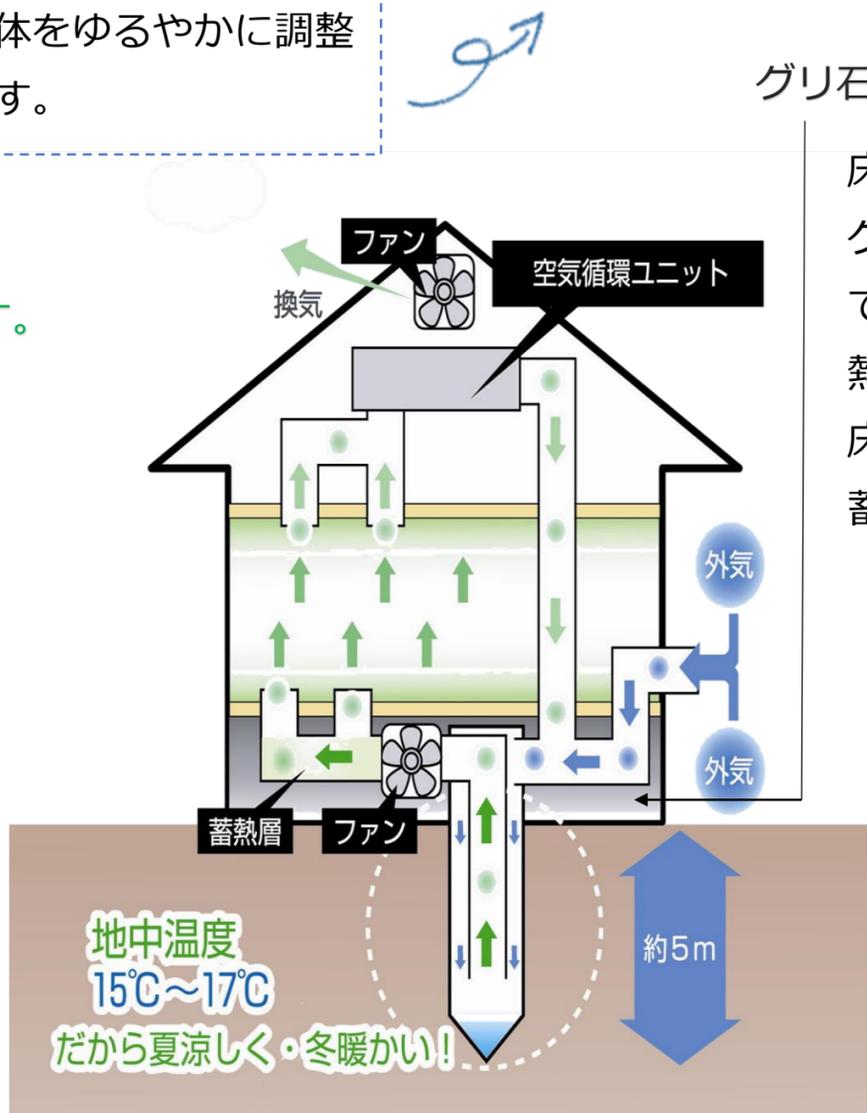
GEOパワーシステムは、私たちの足元にある自然エネルギー「地中熱」を利用し基礎空調を行う24時間計画換気システムです。

つまり、冷暖房のように急激に温度を調節するのではなく、換気をしながら建物全体をゆるやかに調整し冷暖房の空調負荷を軽減します。

ジオパワーシステムは地球(人類)に貢献しています。



住宅にジオパワーシステムを導入すると、1年間あたり、約1トンのCO<sub>2</sub>の削減となります。すなわち杉の木72本分の植林と同等の削減をしていることとなります。



グリ石



床下換気口をなくし、こぶし大のグリ石を床下いっぱい敷き詰めています。グリ石層(碎石蓄熱層)は表面積がコンクリート床の何十倍にも相当し、非常に蓄熱(蓄冷)効果があります。



機械室

お客様の声

春

花粉症が和らぎました。

夏

エアコンとは違う自然な涼しさです。

秋

子どもが熟睡するようになりました。

冬

温度差を感じなくなりました。

1 F



2 F



GEO吹出口



事務所内でもジオパワーシステムを採用。地中熱を利用することで自社の省エネ化を進めています。

# 10. 年間行事 (2019.4~2020.3)

## 創立記念献血



2019.5.16



71名の方に  
ご協力頂きました



## 防災訓練

2019.6.1

室園事務所にて、土のう作り、土のう積み、水中ポンプ、発電機などの操作方法等の訓練を実施しました。

発電機始動



土のう作り



1袋を30秒で100袋作り  
ました。災害時に備  
え、2,000袋用意して  
います。不足する場合  
は、簡単に準備できる  
ように訓練をしています。

## 100周年記念祝賀会

2019.6.3

5月1日に創業100周年を迎えることができました！！

《3010運動実施中》



社員一同、新たな気持ち  
で乾杯を交わしました。  
創業者の想いと歴史を受  
け継ぎ社業に精進してい  
きます。

この運動は食品のロスを減らすため、  
“宴会の開始から30分と、閉宴10  
分前には席に座って食事を楽しみま  
しょう”という運動です。



特別ゲスト  
“さだまさか”さんと  
楽しく歌う様子

13



宴会等を行う際は、3010運動を実施  
しています。  
三角柱のPOPを置き、さらにアナウ  
ンスでもお知らせをしています。  
効果が目に見えて分かるようになり  
ました！今後も継続していきます。

## 美化ボランティア



春と秋、年に2回  
近隣の道路清掃を行い、  
地域環境の保護に努めています。



2019.6.29



## 社員旅行 in 東京

2019.6.14~15  
6.21~22

創業100周年記念として、東京へ1泊2日  
の社員旅行へ行ってきました。



クルーズ船に乗って  
食事バイキング



2019.12.7

近隣の方と挨拶を  
交しながら、  
45Lのゴミ袋3袋分の  
ゴミや落ち葉を  
拾いました。



社員一同、  
見学や、説明を真剣に  
聞いていま  
した。



## 安全週間

2019.7.1~7.7



- 7月1日(月) 趣旨徹底の日
- 7月2日(火) 総点検の日
- 7月3日(水) パトロールの日
- 7月4日(木) 安全教育の日
- 7月5日(金) 反省の日
- 7月6日(土) 休養の日
- 7月7日(日) 安全の日



工事用機械・足場等の点検実施



熱中症対策



4S活動  
(整理・整頓・清掃・清潔)

## 更新審査

2019.7.2

円滑に審査を受け  
ることができました。取組み  
を再度見直し、  
精進していきま  
す。



更新審査の様子

## 親睦交流会・懇親会

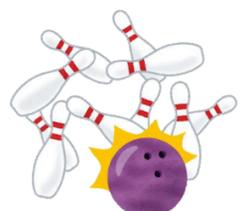


親睦交流会ではボウ  
リングを行い、社員、  
協力業者様合わせて  
約100名の参加でし  
た。距離が近づく良  
い機会になりました。

2019.7.6



S  
T  
R  
I  
K  
E  
!!



## 親子職場体験

2019.8.19



小学校4～6年生と保護者の5組10名に参加して頂きました。  
短い時間ではありましたが建設業の魅力が少しでも伝わったのではないかと思います。



★重機体験★



★鉄筋配筋体験★



★VR体験★

## 衛生週間

2019.10.1～10.7



- 10月1日(火) 趣旨徹底の日
- 10月2日(水) 総点検の日
- 10月3日(木) 衛生パトロールの日
- 10月4日(金) 避難・訓練の日  
健康診断の日
- 10月5日(土) 家族健康の日
- 10月6日(日) 休養の日
- 10月7日(月) 安全の日

機械器具・設備、作業方法等を  
衛生面から点検



健康診断・健康測定の実施



## 消防訓練

2019.11.8

火災発生時、安全に避難できるように  
ビルの関係者全員が消防訓練に参加しています。



消火器の使用方法を確認中



## 企業ボランティア

2019.11.9

毎年、社員と協力会社による企業ボランティア  
活動を行っています。日頃からお世話なっている  
施設に笑顔と感謝を込めて清掃活動を精一杯  
行いました。



約140名の方に  
ご協力頂きました

実践



毎年11月11日の「公共建築の日」に、社会貢献活動の一環として熊本県建築協会の主催により、公共公園のトイレ清掃と献血活動を実施しています。



2019.11.11

若手社員が必死に清掃しています。



### 豆知識

11月11日が公共建築の日となった由来は建築の基本的構造を象徴する4本の柱のイメージと、国会議事堂の完成年月である昭和11年11月に因んだからとのこと。



また、熊本県建設会館にて献血活動も行われました。

今回は熊本中央警察署交通第一課の方を講師にお招きし、

- ①交通事故
  - ②道路交通法の変更点
  - ③横断歩道を意識した運転について
  - ④駐車場での事故について
- についてお話をして頂きました。



“飲酒運転根絶”のキーホルダー(反射材付き)を頂きました！

# 1.1. SDGsの取組強化

## SDGsへの取組み



持続可能な開発目標 (SDGs) とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind) ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル (普遍的) なものであり、当社としても環境活動を中心に積極的に取り組んでいます。

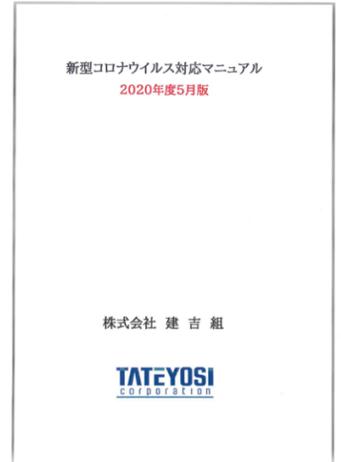
# 12. 会社の取組み

## [ 新型コロナウイルス対策 ]

1. 事務所の朝礼、体操は2mくらいの間隔を開けて実施
2. 対面打合わせは窓を開け間隔を開けて実施
3. Web会議、打ち合わせを実施
4. 手洗い場に消毒液、うがい薬の設置、体温計の常備
5. マスク着用の徹底
6. 事務内の入口を開放し換気を行っている
7. 子どもの休校・登園自粛等の場合の特別休暇の付与、時差出勤の導入
8. 産業医、社労士と相談し新型コロナウイルス感染に関する文書通知、マニュアルの作成
9. 昼休みの分散、各部署で交替による有休取得
10. トイレ利用後は、蓋を閉めて汚物を流す。手洗後のハンドドライヤーは使用中止



### 事務所編



新型コロナウイルス感染症  
対応マニュアルの作成



1階受付  
防護パルとアルコール消毒液



1階正面玄関  
靴のアルコール消毒液



社員用のうがい薬



2階受付  
防護カーテンとアルコール消毒液

### 現場編

1. 現場の朝礼、KY活動、体操は1.5~2mのラインを引き間隔を開けて実施
2. 対面打合わせは窓を開け間隔を開けて実施
3. Web会議、打ち合わせを実施
4. 休憩所内にうがい薬設置
5. 手洗い場に消毒液の設置、体温計の常備、測定の掲示
6. マスク着用の徹底、体温37.5度以上の入場禁止
7. 協力会社へ「検温、車内複数休憩禁止、手洗い・うがいの徹底、不要不急の外出の禁止」を文書にて通知
8. 作業内の密室空間では扇風機と送風機で換気を行っている
9. 子どもの休校・登園自粛等の場合の特別休暇の付与、時差出勤の導入
10. 産業医、社労士と相談し新型コロナウイルス感染に関する文書通知、マニュアルの作成
11. 昼休みの分散、現場内で交替による有休取得



### ▼トイレの消毒 チェックシート(朝・昼・夕)

項目	朝	昼	夕
トイレの消毒			
手洗い場の消毒液			
うがい薬の設置			
体温計の常備			
マスク着用の徹底			
検温の実施			
不要不急の外出の禁止			
扇風機・送風機の換気			
特別休暇の付与			
時差出勤の導入			
産業医・社労士との相談			
文書通知・マニュアルの作成			
昼休みの分散			
現場内での交替による有休取得			

### ▼Web会議



朝礼時の間隔確保



手洗い励行



新規入場者教育



アルコール消毒液と  
うがい薬

○ Yammer・SharePoint

…クラウド上でデータの管理やファイル共有を行うことにより、ペーパーレス化の促進に繋がっています。



タブレットを使用して打ち合わせ中



○ Teams・Zoom

…Web会議促進に伴い、移動時間・距離の削減により生産性の向上及び自動車等のCO2排出量削減にも繋がっています。



Teamsを利用して会議中



[ LIMEX商品 ]



LIMEXは石灰石を主原料とし、紙やプラスチックの代替となり持続可能な社会に貢献する日本発の革新的新素材として、世界から注目されています。



ファイルや名刺はLIMEX商品を使用しています。



[ ブライト企業 ]



2019年10月17日に、熊本県ブライト企業に2期連続で認定されました。(新規50社、2期連続は61社)今後も、働く人がいきいきと輝き、安心して働き続けられる企業として、県内の労働力確保、就職促進につなげるため、労働環境や処遇の向上に優れた取組みを進めていきます。

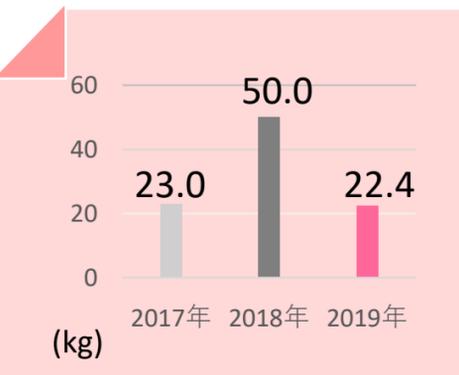
4つの基本的な要件

- ◎従業員とその家族の満足度が高い
- ◎地域の雇用を大切にしている
- ◎地域社会・地域経済への貢献度が高い
- ◎安定した経営を行っている



[ エコキャップ ]

年に一度、ペットボトルのキャップを集めて、CO2削減や雇用創出、子どものワクチン支援など様々な活動に参加しています。



今回提供個数：9,632個  
数量：22.40kg  
累計個数：59,770個  
(2019.12.7 時点)

エコキャップ 受領書

株式会社建吉組 竹内拓 様	ID: 83650	分限: 会社	ご住所: 熊本県熊本市西6-38-15	FAX番号: 096-343-2231
2019/12/07	数量: 22.40kg	個数(約): 9,632個	備考:	

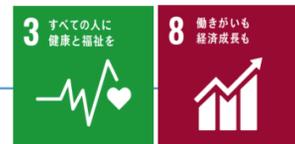
ご提供いただいたエコキャップは再生プラスチック原料として資源し、医療費や障がい者支援、子どもたちへの環境教育等、様々な社会貢献活動にあてられています。ご協力ありがとうございます。皆様のご厚意を大切に致します。

● 累計のキャップをゴミとして焼却した場合はCO2発生量 → 437.85kg  
※キャップ1kgで約1.50gCO2削減します

[ 健康経営優良法人 ]



2020年2月21日に、健康経営優良法人2019の認定を受けました。地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。



▼認定基準

- 1 経営理念 (経営者の自覚)
- 2 組織体制
- 3 制度・施策実行
- 4 評価・改善
- 5 法令遵守・リスクマネジメント

# 現場編

## [ 熱中症対策 ]



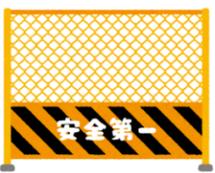
●グリーンカーテン

●野菜や植物など栽培もしています！

●熱中症指数計

●シャワーヘッド

## [ 社会貢献 ]



## [ 環境保全対策 ]



●騒音・振動測定

●現場周辺の清掃活動

●産業廃棄物分別

●募金式自動販売機

### 騒音の大きさの目安



目安①(うるささ)	目安②(生活への影響)	騒音音(dB)	騒音発生源と距離
きわめてうるさい	うるさくて我慢できない	80dB	地下鉄の車内(窓を開けた時) ピアノの音
うるさい	声を大きくすれば会話できる	60dB	普通の会話 洗濯機(1m)
普通	日常生活で望ましい範囲	40dB	静かな住宅地 深夜の市内

### 振動の大きさの目安

震度階級	振動の大きさ	人の体感や行動	屋内の状況
0	55dB以下	揺れを感じないが、地震計には記録される	-
1	55dB~65dB	屋内で静かにしている人は揺れを感じる	-
2	65dB~75dB	屋内にいるほとんどの人が揺れを感じる	電灯などのつり下げ物が、わずかに揺れる

# 1 3 . 2020年度の各部目標

## 総務部

- ・ 残業時間削減 月平均10時間以内
- ・ ペーパーレス化の推進
- ・ グリーン購入60%以上、LIMEX製品の利活用



## 営業部



- ・ 近隣挨拶時の環境配慮商品配布
- ・ 社員へのGEOパワーシステムについての情報共有
- ・ BIGPADを使用した会議書類のペーパーレス化



## 積算課

- ・ 残業時間削減 月平均15時間以内
- ・ ICT(情報通信技術)の活用
- ・ 環境に関する情報(製品、工法等)の収集、提供 2件 / 物件



## 設計課



- ・ 環境配慮設計 2件 / 物件
- ・ ICT(情報通信技術)の活用
- ・ BIGPADを使用した会議書類のペーパーレス化



## 建築部

- ・ 現場周辺の清掃活動 月1回
- ・ 建設廃棄物の分別 100%
- ・ 環境配慮型建設機械の使用 100%
- ・ 募金式自動販売機設置 100%



# 14. 代表者による全体評価と見直しの結果

## 全体の評価

2019年12月8日にエコアクション21中央事務局から認証・登録10年継続事業者として感謝状を頂きました。当社はエコアクション21の取り組みで2007年度の基準年と比べまして2019年度は事務所のCO<sub>2</sub>の総排出量は-42%と大幅に削減出来ました。2019年度は働き方改革に全社を挙げて取り組み、2019年度の所定外労働時間を前年比で-19%削減し、この効果が、CO<sub>2</sub>総排出量、電力使用量の削減目標達成に関連していると思われます。2020年度は社員教育の充実、業務効率化、所定外労働時間の更なる削減を目標に掲げ、社員が健康で安全な職場の元に、環境活動を継続して参ります。

## 全体の見直し

2020年度の業務効率化を考慮して、事務所においてのCO<sub>2</sub>総排出量、電力他2019年度目標が達成できている項目は目標数値を下げます。また、新型コロナウイルス感染防止のためWeb会議の増加で、自動車による移動が減ることが予想されるのでガソリンの目標数値も下げました。現場のCO<sub>2</sub>総排出量、グリーン購入他目標値に達することが出来なかった目標値は2020年度も据え置きます。2020年度はSDGsを理解し、現在SDGsの環境活動を行っていること、今後、取り組んでいく事を17のゴールを参考に社員に浸透させて行きます。

2020年7月1日

株式会社 建吉組

代表取締役

世原 健嗣

# 株式会社 建吉組

---

〒860-0863

熊本市中央区坪井6丁目38番15号

TEL 096-343-1111

FAX 096-345-6711

<http://www.tateyosi.co.jp>